

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会
連絡会事務局発行

9月19日、要請行動を行いました ～「中学生はモ/じゃない！」

9月19日、定時制を守る会として、都教委に要請行動を行いました。

まず、森代表が要請文を読み上げました。(①07年度入試における不合格者の追跡調査を教育行政の責任において行うこと。なお、最小限ここ三年間の中学卒業時の進路未定者数を当日ご報告いただきたい。②08年度入試における夜間定時制高校の募集枠を拡大すること。③「改革推進計画」について早急に責任ある総括を行うこと。④その他、定時制教育振興を一層図ること。)

以下、やりとりをまとめます。

都: 回答します。①については、個人のプライバシーに関わることであり、不合格者を特定して調査することはできない。なお、進路未定者数は調査していないが、進路状況調査というのがあり、これは公開しているデータである。その中に「在家庭者」の中で進学を希望している生徒数があり、H16年度では237人、17年度では190人、18年度では197人となっている。②については、受け入れ枠は確保しており、拡大は考えていない。③について。まだ継続中であり、最終的な検証の時ではないと考える。④について。多様なニーズに応えるため、授業の改善なども含めて努力している。

森代表: 一項目目については若干の回答があったが、ほとんどゼロ回答に近い。八王子地区では受験生のかなりの集中が見られた。その改善をぜひお願いしたい。①について、数字をお知らせいただいた。印象であるが、進学したいのにできなかった生徒の数というのは、こんなものではないと思う。桁が違うのではないか。これはどこのデータか。

都: 都教委で調査をしたもの。5月頃に区市町村からのデータを集めたもの。

守る会 (以下「会」): 計画進学率の中には夜間定時制の生徒や私立の広域通信制の生徒は入

っていない。でも高校進学者の中にはそういう人たちも含まれている。広域通信制にどれくらい行っているかを把握しているか。

都：基本的に、管轄が違うこともあり、つかむのは困難である。今年は（都立も私立も）通信制全体で803人が通っており、前年より100名ほど増えている。

募集停止校の募集再開を

会：都の努力は一定認めるが・・・今まで定時制の場合だと、二年連続入学者が10名以下の場合募集停止になるという規定があったようだが、逆に八王子は4倍の倍率だ。二年連続4倍の倍率が続いたら、募集停止にされた近くの夜間定時制の募集を再開すると言うことはしないのか。

都：今のところ考えていない。確かに拓真の場合、倍率が高かったため皆さんからご意見を頂いている。本来なら受け入れることができたはずだが、それを上回った。適した方が適した学校に行けるように進路指導を強める必要があると思う。

会：本来なら受け入れる枠があるはずだった、しかしそうならなかった、その原因は何だと考えるか。

都：期待があったということが一つ。また、全日制を受けるはずの人が受けてきたということもあるだろうし、進学をあきらめていた方が受けに来たこともあると思う。

会：そういう現象が起こることは事前にわかっていたはず。しかし対応してこなかった責任をどう考えるか。

都：各市町村に、学校の特性にあった生徒を出して欲しいとお願いはしている。

会：前もって指摘してきたはず。しかし都は、全体としてみれば充足しているというような回答であった。具体的な手だてはしなかったと言われても仕方がない。

都：繰り返しになるが、定時制の生徒を受け入れる枠はあったし、現にある、と思っている。

会：一次入試に関して、多摩地区だけで、411人落ちている。二次では208人落ちた。小金井工業や五日市などごく少数の学校以外では三次募集はなかった。落ちた子がどうなったか。少ない人数であっても、定時制に行けなくなった生徒が出たことが重大。先ほど出た私立の広域通信制



は、2000年ぐらいから毎年千人単位で東京の生徒が増えている。八王子、三学区あたりをどうしていくのか。

都：広域通信制についてはコメントできないが・・・定時制に行きたい子は定時制に行けるようにすることが第一。進学希望されている方が進学できるように・・・。

会：拓真は・・・昼間の方は計画進学率に入っている。全日と同じに扱ってにおいて「定時制枠」というのはおかしい。倍率はだんだん下がるかもしれないが、それは進学をあきらめる生徒

が多くなるからに過ぎない。他県でも似たような状況が起きている。しかしそれでいいのか。せめて八王子で何とかできないのか。

都：全日を希望している子は全日を受けるように指導していくのが基本。ただ、無理矢理希望を変えさせることはできない。

会：都教委は計画進学率を96%ということで、今年もそう出ている。しかし達成したことは一度もない。その差は何故起きるのか。改革推進計画が出た頃、社会の雰囲気は「改革」がどんどん進めばいい、という感じだったが、今は階層化が進み格差が大きくなり、雰囲気も変わった。その中で教育というのはもっとも大切なセクション。弱い層に対してどうケアをしていくのか。総括も今すぐやるべき。



会：適切な進路指導が大切だとおっしゃっているけれど・・・、私の子どもは今年高校に入りましたが、中学でしっかりした指導が行われたとはとても思えない。子どもはアルバイトをしながら学校に通っている。生活がきびしく、アルバイトをせざるをえない生徒が増える中で、近くに学校がないと通えない。

都：ニーズに応じたさまざまな学校を設置したことについては、「都民意識調査」を見ても基本的に評価を頂いていると思うが、(ここで、参加者から「えー、そうかしら」とのブーイングあり) まだ中身を知られていないということがある。もっともっと中身を知らせる努力をすべきだった。私どもに責任があるといえばその点である。

行き場のなくなった生徒が多く出たことをどう考えるのか

会：中学の先生からもらった文章があるのでちょっと読ませてもらう。「昼間定時制やチャレンジは、不登校生との受け入れをうたっておきながら、説明会で示された作文の問題例は大変難易度の高いものだった。再起をめざす生徒にとっては大きなショックだった」「拓真の入試倍率は異常です。学び直しをしたいのに、またそこで落とされる。やり直したい生徒にも競争が必要なのか。不登校などの生徒の受け皿はなくなっている」「学力のない生徒の行き場がなくなっている。チャレンジなどは期待だけさせて落とされる」チャレンジは評価されているようだが、それはいいとして、そのことによってできた影の部分、つまり、行き場のなくなった生徒が多く出たことについてどう考えるのか、が問われている。八王子のような事態は今年で終わらせるという考えで、対策を打ち出して欲しい。

会：計画進学率の96%を実際は達成していない。ということは定時制を希望した生徒が多かったということ。計画進学率より実際はかなり低くなっていることをどう考えているのか。

都：都立全体では、去年より今年の方が全日制だけでも多く受け入れている。全日制への進学率が下がったことについては残念だが・・・。今後も努力する。

会：「適切な進路指導」という意味がよくわからない。新しい学校が皆さんのニーズに合っ

たということは喜ばしいことだと思う。でも、私は定時制の卒業生だが、倍率がなかったことが定時制を受験した動機だった。私はずっと不登校で定時制に来た。受けて落とされるというのが・・よくわからない。枠があるということが言われているが、モノじゃないんで、どっかに行けばいいという事じゃないと思う。

都：おっしゃることわかります。ですから定時制を希望されている方が、定時制に行ってほしいと考えている。そうなるように適切な進路指導をと考えている。

会：南多摩定時制にいた者だが、八王子の4校の夜間定時制が統廃合されて拓真になった。ところが今話を聞くと全日制を受けるような子が殺到しているという。その流れは止まらない。ということは八王子の夜間定時制に行くはずだった子達はどこにも行けなくなったということ。その痛みを感じて欲しい。だから八王子から町田、立川、福生という、決して「近く」とは言えない夜間定時制に行かざるを得なくなった。それだって何人かにすぎない。「全日制に行くような子も拓真に来ている」などとさらっと言わないでほしい。来年また繰り返さないために具体的に言って欲しい。募集の一部復活とか。

具体的な対策をぜひ

森代表：お返事をうかがうと、まだ受け止めていただけていない感じである。我々の要望を受けて、何か「こう検討する」というようなお答えが欲しい。いかがか。

都：守る会とは何回もお話をし、意見をうかがっている。高校改革についてはまだ総括をする時期ではないが、今後きちんと学校の有り様ややってきたことを検討していきたい。具体的なことはまだ言えないが。

会：八王子地域で来年検討することはないか。

都：入試の応募の段階で、全日制との差し替えを認めるなどの改善は行ってきた。拓真は定時制希望者の受け皿として作ってきた。そのことを進学指導に生かすよう、今後とも指導を強めていきたい。

会：今のことだけですか。中学への指導だけでは足りない。夜間クラスの増とか募集停止の一部復活とか、何か具体策を。「影」の部分に光を当てるべき。早急に。

会：都教委の政策は格差を作ることだった。中高一貫校の定時制はすべてつぶした。これでは社会的にも荒れてくる。競争率がないから定時制に入れた、と先ほどの卒業生も言っていた。競争率だけではダメ。定時制の振興策も考えよ。

森代表：時代が変わってきている。夜間定時制の役割を今こそ見直したい。働きながら学ぶ生徒をぜひバックアップして欲しい。夜間定時制の振興策をぜひ。八王子に関しては我々の意見をぜひ受け止めて、今年のようなことを繰り返さないようお願いしたい。今後も話し合いの継続をぜひ。

次回拡大幹事会は10月20日(土)6時から8時まで。新宿東口喫茶店の西武にて。